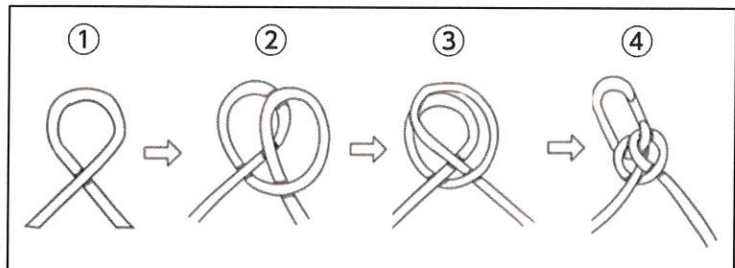


③ クローブヒッチ(Clove hitch)

巻き結びのことです。モクシを柱などに固定する際に使います。簡単に結べますが、ロープの片一方にのみ荷重があるとほどき辛いという欠点があります。



日本スポーツ振興協会 https://www.jpsport.go.jp/box/clip/P004b/0_images/content/10041/2018_text/03a.pdf

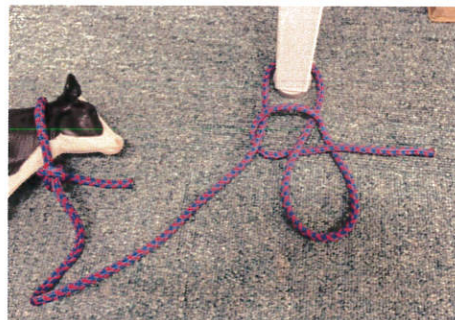


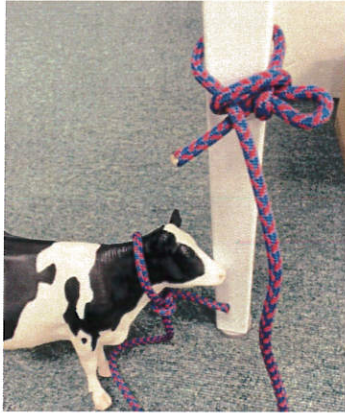
この縛り方で保定して牛が倒れるとなかなか解けないので、元気な牛や子牛で使うようにした方がいいかもしれません。

④ 馬繋ぎ結び (Hitching tie)

馬がつながっている方を強く引っ張っても解けません、反対側を引っ張れば簡単に解くことができます。

つまり、普段、私たちが何気なくやっている、ロープの末端を引っ張ると解ける結び方です。実は馬繋ぎ結びというらしいです。





- ・ロープを柱の左側から巻きつけ、先端が牛側のロープの上になるように交差させます。
- ・輪っかの右下に小さな輪っかを作ります。この時も末端側のロープが牛側のロープの上になります。
- ・ロープの末端を二つ折りにして、作った輪っかへ通します。

以上こんな感じで私が使っているロープワークを羅列してみました。
カラビナやATCと組み合わせれば、安全でかつ省エネで牛を保定できそうなので今後研究してみようかと思えます。ロープワークは文面ではどうしても分かりにくいので、youtubeで検索してみることをお勧めします。

望月